



2019年度

神戸薬科大学「在宅医療」を支援する 指導薬剤師養成プログラム募集要項

【目的】

医療が高度化し、患者の高齢化が進むなか、医療環境が大きく変貌してきています。このような状況下、多職種が連携した患者居宅における医療提供の重要性がますます高まっています。薬剤師も「在宅医療」を担うチームの重要な一員として他職種と協働し、専門性を生かした質の高い安心・安全な医療を提供することが求められています。

そこでエクステンションセンターの事業の一つとして薬剤師を対象に、専門知識や技術をそなえた能力のある「在宅医療」を担う人材を育成するためのプログラム『「在宅医療」を支援する指導薬剤師養成プログラム』を実施しています。

【内容】 右記参照

【募集人数】 5名

【実施期間】 2019年4月1日～2020年3月31日

【受講資格】

1. 現在、病院または薬局に勤務されている現役の薬剤師の方
2. 薬剤師認定制度認証機構により認証された生涯研修認定制度による認定薬剤師を取得されている方
3. 臨床能力育成プログラムの講習会に積極的に参加できる方
4. 勤務先からプログラム受講の内諾を得られる方

※ご質問は【お問い合わせ先】までお願いします。

地域連携チームで
支える在宅医療



【募集受付期間と申込み方法】

1. 受付期間：2019年2月18日(月)～2019年3月15日(金)必着
2. 申込方法：提出書類
 - ①履歴書(市販の履歴書使用可)
住所、氏名、生年月日、連絡先(電話、メールアドレス)、学歴、職歴、所属(勤務先)、在宅に関する経験年数(ex.2年、未経験等)、このプログラムを志望した動機を記入し、写真貼付(縦4cm、横3cm)すること。
 - ②認定薬剤師証の写し(現時点で認定期間が有効なもの)

【選考方法】 上記書類選考の上、決定します。

【受講料】

1. 臨床能力育成プログラム
医療現場での研修につきまして研修費(1施設当たり5,000円)のご負担をお願いします。
また、臨床実習時には保険(普通傷害保険)に加入していただきます(4,000円程度の費用負担有り、加入手続きは大学で対応、既に傷害保険等に加入している場合は加入不要)。
2. 生涯研修スキルアッププログラム
神戸薬科大学エクステンションセンターが主催する研修会の内、必修受講講座(右記参照)の受講料(選考後オリエンテーション時に提示)。

【その他】 医療現場での研修、研修会への参加にかかる交通費等は自己負担となります。

【申込先・連絡先・お問い合わせ先】

神戸薬科大学エクステンションセンター

〒658-8558 神戸市東灘区本山北町4-19-1

TEL: 078-441-7627(直通) FAX: 078-441-7629

E-mail: extc@kobepharma-u.ac.jp

URL: <https://www.kobepharma-u.ac.jp/extension/>

【受講内容】

1. 臨床能力育成プログラム：

※通常勤務を休んで受講していただく場合があるので、勤務先の了解を得て受講すること。

- ①在宅患者宅への訪問同行、診察室見学及び他職種の業務研修
(医師やケアマネ、訪問看護師等、4日間程度)
- ②多職種による講習会への参加(不定期開催、適宜案内します)
※①②ともに、神戸市垂水区を中心に実施。
※①の実施日は、受講者及び受入施設の日程を調整して決定する(11月～3月の間で実施予定)。
また、訪問同行レポート(様式有)を提出すること。



2. 生涯研修スキルアッププログラム：

2019年度 神戸薬科大学エクステンションセンター生涯研修支援プログラムにおいて、次の講座の受講を義務付ける〔()は開催予定日〕。

【**薬剤師実践塾**】(受講料1講座2,000円～5,000円)

第51回(4/21)、第52回(6/16)、第53回(6/16)、第54回(8/4)、第55回(2020.3/1)

【**症例検討会**】※(受講料1講座1,000円)

第8回(5/12)、第9回(7/7)、第10回(10/27)、第11回(2020.1/26)

※4回の内から2回を受講すること。

【**リカレントセミナー**】※(受講料1講座2,000円～5,000円)

第90回(4/7)、第92回(9/8)

※どちらか1回を受講すること。

上記以外のプログラムも積極的に受講すること。

3. 修了レポートの提出：(訪問同行レポートとは別)

終了レポート課題：在宅における問題点や、実際の症例、薬剤師としてどのように関わらべきか等(課題は自由 A4用紙1枚以上)。

4. 報告書の作成

報告会発表用原稿と、1.臨床能力育成プログラムの訪問同行レポート、3.修了レポートを合わせて、報告書を作成する。

5. 報告会において発表(報告会は翌年度に実施)

1名につき10分(発表5分、質問時間5分)パワーポイントを使用してプレゼンテーションを行う。

6. 修了証書の交付

上記1.～5.のプログラムを終了した受講者には修了証書を交付する。



神戸薬科大学 KOBE PHARMACEUTICAL UNIVERSITY